



訪問ガイド 2026

セビリア大聖堂

セビリア・から 18€

<https://catedraldesevilla.visit-tickets.com/ja/>・優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

狂人の賭けから生まれた巨構

GOOGLE **4.8** ★★★★★ 59 297レビュー

TIQETS **4.5** ★★★★★☆ 8 905レビュー

セビリア大聖堂の物語は、**1402年**に始まります。アルモハド朝の大モスク跡地に建設が開始されたこの巨構は、再征服後のキリスト教スペインの繁栄と権威を象徴するために計画されました。建築家アロンソ・マルティネスは、「将来の訪問者が我々を『狂人』だと判断するようなほど巨大な神殿を建てる」という大胆な賭けを行いました。この野心ある宣言は、スペイン最大のゴシック様式の大聖堂を生み出し、セビリアの都市景観を永久に変えました。

建設過程では、旧モスクの柱や要素が再利用され、特にそのミナレットは鐘楼としてそのまま活かされました。ヒラルダ塔は、馬が頂上まで登れるように設計された緩やかな坂道を持つイベロ＝イスラム風の建造物です。このユニークなアクセス方法は、中世の技術的工夫を示しており、今日でも訪れる人々を驚かせます。ゴシック様式の厳格な構造の中に、ムーア朝時代の遺産が調和して共存しています。

内部装飾は、ピエール・ダンカルトによる世界最大級の祭壇画で彩られています。**45枚**の彫刻パネルからなるこのフラメンゴ・ゴシック様式の傑作は、キリストの生涯を描き、一生涯をかけて制作されました。純金製の巨大なオステンズーリオ（聖体顕示器）も収められており、当時の芸術的・精神的豊かさを証明しています。これらの宝は、大聖堂を単なる礼拝場所ではなく、芸術の殿堂へと昇華させました。

王立礼拝堂には、フェルナンド3世とアルフォンソ10世の墓が安置されています。スペイン史の重要な君主たちがここに眠ることで、地域のアンドルーシアアイデンティティ形成における王権の中心的役割が思い起こされます。また、クリストファー・コロンブスの石棺も存在し、4体の巨大な像によって支えられています。この大聖堂は、宗教、政治、探検の歴史が交差する神聖な空間として、今も人々の心を捉え続けています。

体験

大聖堂の扉を開けると、まず圧倒的な空間の広大さが訪れる者を迎えます。83メートルという一定の幅を持つ nave は、ミラノやケルンよりも長さは劣りますが、その横幅ですべてを上回ります。石畳の上を歩く足音は、42メートルの高さに位置するゴシック様式のヴォールトに向かって反響し、中世の建設者たちの技術的複雑さを肌で感じさせます。光が彩色ガラス窓を通り抜け、金色の装飾を照らす瞬間、時間を超えた静謐さが漂います。

ヒラルダ塔への登りは、独特な体験を提供します。階段のない緩やかな坂道を上がると、セビリア全体とグアダルキビール川のパノラマビューが開けます。夕日の金色の光の下で、ムーア様式の外側とゴシック様式の内側の対比を楽しむことができます。頂上からの眺めは息を呑むほど美しく、アンダルシア地方の素晴らしい景色が広がります。この視覚的スペクタクルは、単なる観光ではなく、歴史的な旅の頂点としての感動をもたらします。



訪問の準備

実用的な情報

住所 歴史的地区中心部・メトロ: サンベルナルド (L1, L2) または プレシアドス (L1)、徒歩5分。	営業時間 季節や学校休暇によって変動します。訪問前に必ず公式サイトで正確な時間帯を確認してください。
料金 年齢により子供無料（バリエーションを確認）。{promo}。	所要時間 巨大な本堂を探検し、壮大な祭壇画を鑑賞し、ムーア朝時代の旧ミナレットであるヒラルダ塔の頂上まで登るには、1時間30分から2時間を見込んでください。
写真撮影 本堂内ではフラッシュなしでの写真撮影が一般的に許可されています。宗教儀式中やカピリャ・マヨールなどの特定の礼拝堂では制限があるため注意してください。	対象者 歴史愛好家のすべての層に理想的です。子供たちはヒラルダの伝説を楽しむでしょうが、神聖な場所とそのユネスコ世界遺産に対する敬意ある静けさが求められます。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

	地下鉄 : プラサ・ヌエバー 4 min à pied セビリア空港 (30 min)・セビージャ プラサ・アルマス (9 min)
	バス : プラサ・ヌエバー 4 min à pied セビリア空港 (47 min)・セビージャ プラサ・アルマス (13 min)
	レンタカー セビリア空港 (36 min)・セビージャ プラサ・アルマス (7 min)
	自転車 セビリア空港 (47 min)・セビージャ プラサ・アルマス (7 min)

LOCALISATION

Où se trouve セビリア大聖堂？



📍 s/n, Avenida de la Constitución — 41004 セビリア

🌐 37°23.150' N, 5°59.588' O



組織

大聖堂の探索ガイド

本堂 (Nave)

主中廊下は車椅子対応可能で、ベビーカーも入れます。中央には巨大なオルガンと唱経席があり、両側には三十数もの側面礼拝堂が並んでいます。石畳の上を歩きながら、各礼拝堂の異なる時代様式と装飾を観察してください。

王立礼拝堂 & カピリャ・マヨール

本堂の奥には、フェルナンド3世とアルフォンソ10世の墓がある王立礼拝堂があります。さらに奥の主礼拝堂では、ピエール・ダンカルトによる巨大な祭壇画を鑑賞できます。ここは大聖堂の最も神聖で芸術的に豊かな部分です。

ヒラルダ塔の頂上

急勾配のスロープを経て到達する展望台です。セビリア市街とグアダルキビール川のパノラマビューが楽しめます。特に夕暮れ時の金色の光は、ムーア様式の壁面を美しく照らし出します。

アクセシビリティ

車椅子アクセス

nave内では車椅子対応可能ですが、ヒラルダ塔への登りは困難です（急勾配のスロープ）。

ファミリー向け

nave内ではベビーカー可。厳格な服装規定を遵守してください。

オーディオガイド

フランス語, 英語, スペイン語



選 択

見逃せない8つの至宝

01

鐘楼

ヒラルダ塔

旧モスクのミナレットを再利用したイベロ＝イスラム風の鐘楼です。階段ではなく緩やかな坂道で頂上へアクセスでき、馬が祈りの呼びかけのために登れるように設計されました。セビリアの象徴的なシンボルであり、夕日の光の中で最も美しい姿を見せます。

💡 頂上の風向標「ラ・ヒラルダ」は、当初は天使の像でしたが、後に現在の形に変更されました。この変更は、宗教的变化を象徴しています。

02

ピエール・ダンカルト カピリャ・マヨール

主祭壇画

世界最大の祭壇画と考えられる45枚の彫刻パネルからなる傑作です。フラメンゴ・ゴシック様式で、キリストの生涯を描いています。一生涯をかけて制作された主要作品であり、細部まで無限に精巧な装飾が施されています。

💡 ダンカルトはこの作品制作中に失明しましたが、弟子たちの助けを得て完成させました。彼の情熱と献身的な姿勢が作品に込められています。

03

宝物庫

巨大なオステンスーリオ

世界最大の純金製のオステンスーリオ（聖体顕示器）です。宗教装飾品としての真の傑作であり、当時の芸術的・精神的豊かさを証明しています。何世紀にもわたって大きな儀式の際に信者や歴史家の注目を集めてきました。

💡 このオステンスーリオは、セビリアの商業繁栄期に作られ、銀と金の価格変動にもかかわらず、その価値を保ち続けています。

04

宝庫礼拝堂

クリストファー・コロンブスの墓

メインエントリ付近にある石棺は、スペインの旧王国を表す4体の巨大な像によって支えられています。これはあなたのコースで見逃せない歴史的ハイライトの一つです。コロンブスの遺体が実際にここにあるかどうかは議論の余地がありますが、象徴的な意味は大きいです。

💡 4体の像はそれぞれカスティーリャ、アラゴン、レオン、ナバラを表しており、統一されたスペイン王国の誕生を記念しています。

05

エルナン・ルイス 王立礼拝堂

王立礼拝堂

フェルナンド3世とアルフォンソ10世の墓が安置されている神聖な場所です。質素ながら威厳ある建築に囲まれ、スペイン史における重要な人物たちの記憶を保存しています。静謐で歴史的な雰囲気にもまれており、瞑想に適しています。

💡 フェルナンド3世はセビリアを再征服した英雄として崇められており、その墓参りは多くの巡礼者の目的となっています。

06

ロレンソ・メルカンターテ 西ファサード

バプテスマの門

15世紀に建造されたゴシック様式の門で、洗礼のキリストの表現が装飾されています。セビリアの聖人たち、サン・レアンドロやサン・イシドロの彫刻が直接メルカンターテの手によるものです。天使や預言者のシリーズもペドロ・ミリアンの作品です。

💡 この門は、大聖堂の最も古い部分の一つであり、建設初期の芸術的志向を示しています。

07

本堂中央

唱経席 (Coro)

本堂の中心を占める壮大な唱経席は、二つの大きなオルガンを備えています。ゴシック様式の木造彫刻が豊富に施され、僧侶たちが礼拝を行うための機能的かつ美的な空間を提供しています。高所からの視点でヴォールトや巨大なオルガンを見ることができます。

💡 唱経席のデザインは、声の響きを最適化するために計算されており、音楽的な完璧さを追求しています。

08

外部

トリウンフォ広場からの眺望

ヒラルダ塔のファサードを俯瞰できる歴史的広場です。セビリアの象徴的なシンボルを記録するのに理想的な撮影スポットを提供します。特に夕日の金色の光の下で、鐘楼の雄大なシルエットに独特の視点を提供します。

💡 この広場は、かつて処刑が行われた場所でもあり、歴史的な重みを感じさせる空間です。

アドバイス

完璧な訪問のための秘訣

TIMING

開門直後の10時45分か、閉門前に訪れて、正午の大規模な団体客を避けましょう。涼しい時間帯であれば、より落ち着いた見学が可能です。

PARCOURS

本堂→王立礼拝堂→カピリャ・マヨール→ヒラルダ塔の順で回ることをお勧めします。これにより、身体的疲労を軽減し、集中的な建築探索中の快適性を向上させます。

PAUSE

大聖堂の真向かいにあるBar La Catedralで休憩しましょう。活気ある雰囲気と伝統的なタパスを楽しみながら、訪問の疲れを癒すことができます。

AUDIOGUIDE

フランス語、英語、スペイン語で利用可能です。モスクが大聖堂になった過程を理解するのに役立ちます。建築ファンにとって必見のツアーになります。

BILLET

公式サイトで毎週100枚の無料チケットに挑戦してみましょう。入手は困難ですが、大きな節約につながります。有料予約というBプランを用意しておいてください。

PHOTO

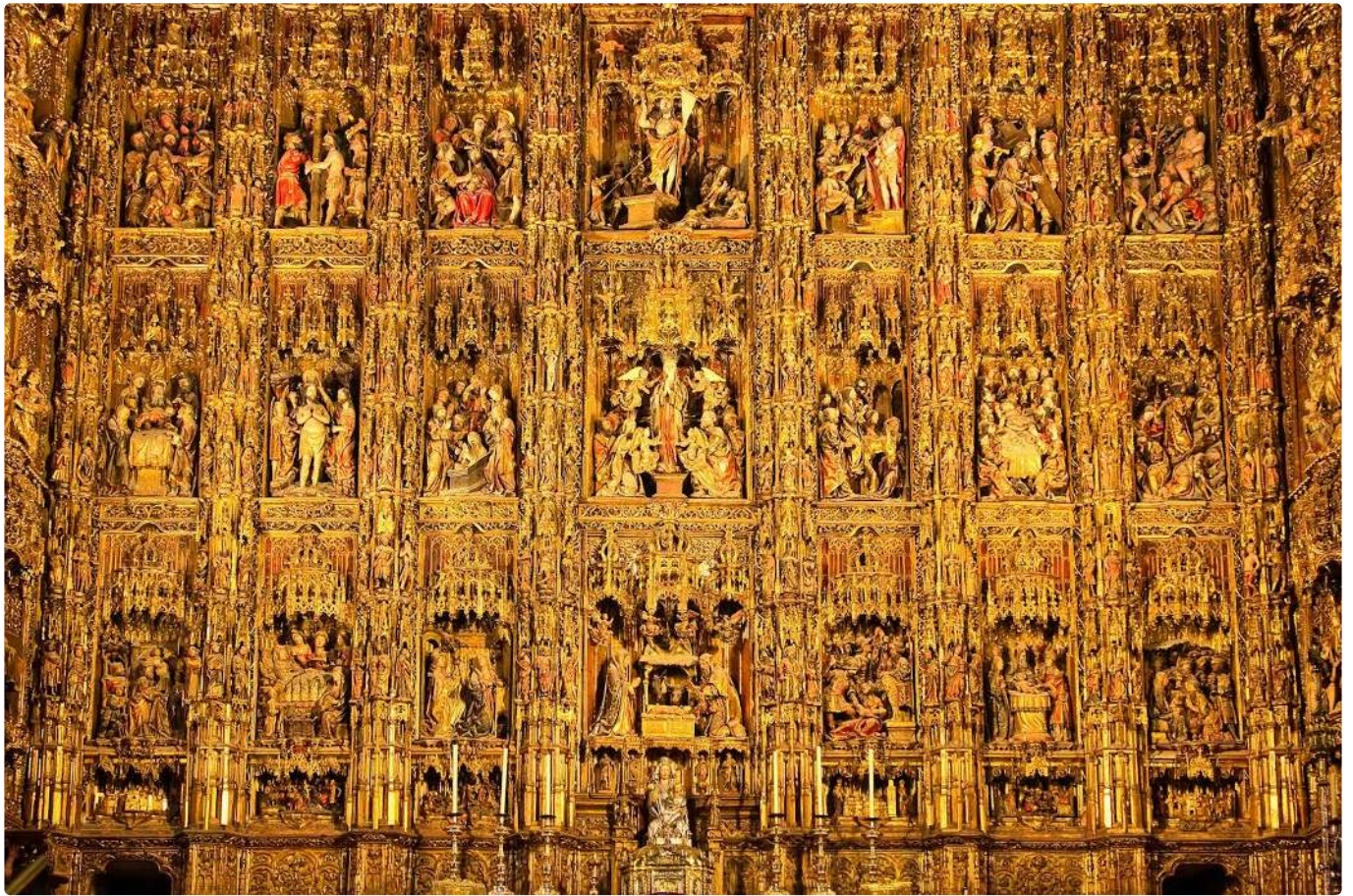
トリウンフォ広場または隣接する通りから、象徴的な写真を撮影しましょう。これらの俯瞰角度は、特に夕日の金色の光の下で、鐘楼の雄大なシルエットに独特の視点を提供します。

ENFANTS

子供たちはヒラルダの伝説を楽しむでしょうが、神聖な場所とそのユネスコ世界遺産に対する敬意ある静けさが求められます。ベビーカーは主中廊下に入ることができます。

CONFORT

急な坂道を介したヒラルダへの登りや、中央 nave の石畳を歩くために必須です。良いペアの靴は身体的疲労を軽減し、この集中的な建築探索中の快適性を大幅に向上させます。



よくある質問

よくある質問

大聖堂への入場待ち行列を避けるには？

cathedrale seville coupe file チケットを事前にオンラインで購入することを強くお勧めします。また、Iglesia Colegial Divino Salvadorが時折販売する組み合わせチケットを試すという裏技もあります。この方法により、メインの列を迂回して貴重な時間を節約できます。特に観光ピーク時には効果的です。

無料入場はありますか？

はい、大聖堂は公式サイトを通じて毎週100枚の無料チケットを提供しています。これらの席は1日20名に限定され、14時から15時の時間帯のみ有効です。需要が非常に多いため、販売開始直後に予約し、Bプランを用意しておいてください。

アルカサルとの組み合わせチケットはありますか？

同じ運営者から両施設を直接結びつける公式の単一チケットは存在しません。しかし、一部の集約サイトでは両方の記念碑を含む観光パッケージを提供しています。Giraldaなど、各アトラクションのキャンセル条件と個別の営業時間を必ず確認してください。

ヒラルダ塔への登頂は別々に予約する必要がありますか？

通常、Giraldaへのアクセスは大聖堂の標準チケットに含まれています。ただし、選択したオプションに「Giralda」と明記されていることを確認してください。繁忙期には塔の時間枠が埋まりやすいため、現地での失望を避けるために事前に含まれているかを確認しましょう。

ヒラルダ塔の頂上まで登ることができますか？

はい、階段ではなく傾斜したランプを通して頂上へアクセスできるため、登りやすくなっています。このアクセスは主にメインチケットに含まれていたり、追加料金で利用できたりします。セビリアとグアダルキビール川のパノラマビューは努力に見合う価値があり、アンダルシア地方の素晴らしい景色を提供します。

ご存知ですか？

エピソード & トリビア

狂気の賭け

1401年、決定的な会議において、建築家アロンソ・マルティネスは大胆な挑戦を行いました。「将来の訪問者が建設者を『狂人』だと判断するようなほど巨大な神殿を建てる」というものでした。この野心的な賭けは、スペイン最大のゴシック様式の大聖堂を生み出し、セビリアの権威の真の象徴となりました。

記録的な幅

ミラノやケルンよりも長さは劣りますが、**83メートル**という一定の幅でそれらすべてを上回ります。この例外的な寸法は再征服後の繁栄を象徴し、セビリアをアンダルシアの主要商業都市としての地位を確固たるものとし、その巨大な内部容積で人々を圧倒します。

廃墟の上での建設

建設は1402年、アルモハド朝モスクの廃墟の上で始まりました。この選択は、再征服後のキリスト教の勝利と回復した繁栄を象徴することを目的としており、セビリアの都市景観を劇的に変え、ユネスコ世界遺産に登録された威厳あるカトリックの礼拝場所へと変貌させました。

蔵書の秘密

大聖堂は、1532年に出版された『キリスト教教理書』の初版印刷本の唯一の2冊のうち1冊を保管しています。フアン・クロンベルガーのセビリア印刷局に帰属されるこのbibliographic treasureは、羊皮紙で綴じられ、ルネサンスおよびプラテレスクなタイトルページで飾られています。

博物館周辺

大聖堂周辺には、セビリアの文化的精華が集まっています。セビリア・リアル・アルカサルは隣接するムデハル様式の王宮で、緑豊かな庭園を持つ建築の宝石です。予約が義務付けられているため、事前に計画しましょう。サンタ・クルス地区は旧ユダヤ人地区の歴史に富んだ迷路で、白い路地、花咲く中庭、典型的な職人ショップが点在します。休憩には、大聖堂の真向かいにある**Bar La Catedral**が最適です。活気ある雰囲気と伝統的なタパスを楽しみながら、訪問の疲れを癒すことができます。Plaza del Triunfoからは、ヒラルダ塔のファサードを俯瞰できる最高の撮影スポットが提供されます。



セビリア大聖堂を訪れることは、単なる建築物の見学ではありません。歴史の重みと芸術の美しさが交差する瞬間を体験することです。ムーア朝の遺産とゴシックの輝きが調和するこの神聖な空間で、あなたの心は過去と現在をつなぐ橋渡しとなります。ぜひ、この忘れられない記憶を大切にしてください。